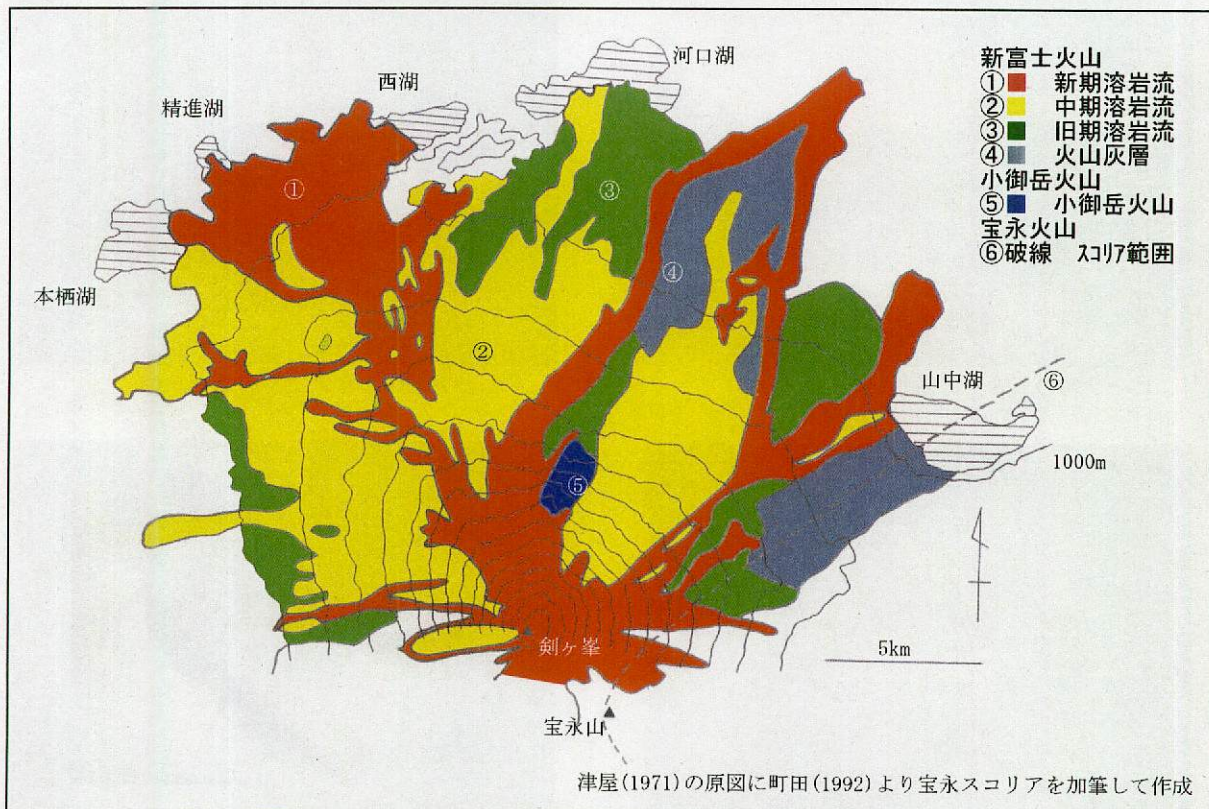
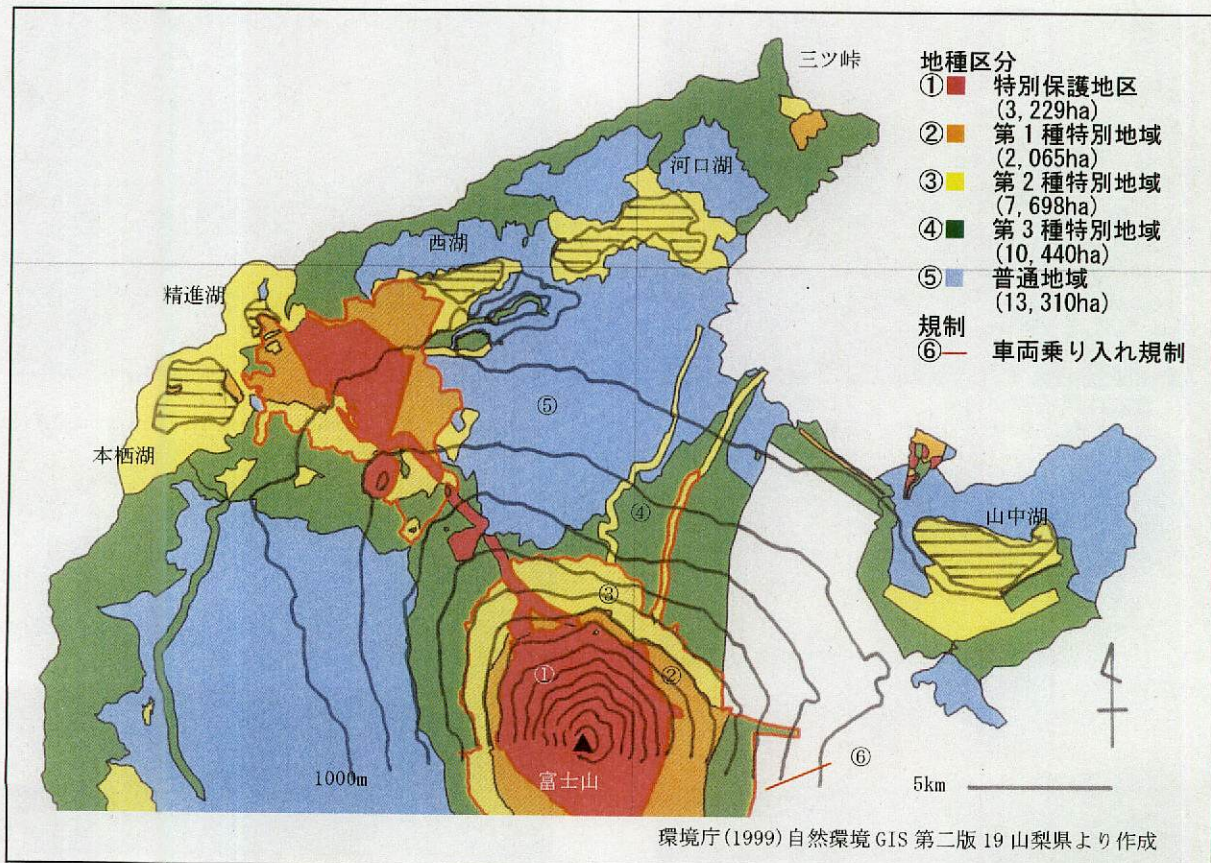


PL. 19 総括（富士北麓地域の生態系の特徴と保全のための課題）



富士山噴出物の分布概況



富士北麓地域の国立公園地種区分

PL. 20 総括（富士北麓地域の生態系の特徴と保全のための課題）



1 ピーク時の五合目の賑わい
1日に1万人をこす人が山頂を目指すと考えられる。撮影：篠田



2 鳥もちを使用したアオジの密猟現場
中にはオトリの個体が入っていた。撮影：篠田(1999年、剣丸尾)



3 溶岩洞穴内に多い落書き
洞穴内には長年分解されないごみも多い。撮影：篠田



4 車に轢かれたホンドモモンガ
スパルライン四合目上付近、動物の事故死は多い。撮影：篠田



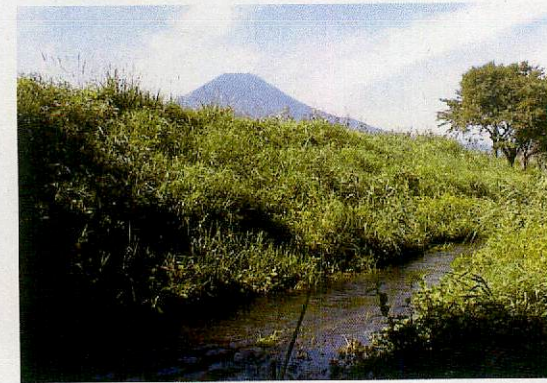
5 地衣体周辺部が白化したフクレセンシゴケ
St. 3 シラビソ林、最近の大気汚染の影響をうかがわせる。
撮影：原田



6 沢に投棄された廃車
車両が通行できる林道周辺には質・量ともに大きな不法投棄が
あとをたたない。撮影：篠田(1999年、剣丸尾)



7 草地の人為的な管理手法
草地環境を維持するためには植生遷移を抑制するための刈り
取りや火入れなどの人為的な管理が必要である。撮影：瀬子



8 貴重な水域環境
富士五湖をはじめ富士北麓の水域にも、国 RD 選定種や固有性
の高い種など貴重な生物の生息地が残されている。撮影：篠田

目次

第一部 調査の概要

1 調査の意義と目的	1
2 調査内容	1
3 調査結果の概要	4

第二部 富士北麓地域の生物相

植物

植生	磯田 進・大久保栄治・中込司郎	9
維管束植物	磯田 進・大久保栄治・中込司郎	17
蘚苔類	南 佳典・杉村康司	22

菌類

大型菌類(きのこ)	柴田 尚	29
変形菌類	松本 淳	38
接合菌類	出川洋介	45
地衣類	原田 浩	48

脊椎動物

大型・中型哺乳類	上田弘則	55
小型哺乳類	白石浩隆	59
鳥類	杉原 廣	63
爬虫類	湯本光子	72
両生類	湯本光子	75

無脊椎動物 (昆虫類)

チョウ目 蝶類	渡辺通人	79
チョウ目 蛾類	瀬子義幸・長谷川達也	90
ハチ目	萩原康夫	103
コウチュウ目	篠田授樹	111
その他の昆虫類	篠田授樹	132

無脊椎動物 (土壌動物)

土壌動物 概説	伊藤良作	147
トビムシ目	伊藤良作・長谷川真紀子	150
カマアシムシ目・コムシ目	中村修美	156
アリヅカムシ類	野村周平	159
ヤスデ綱・ムカデ綱	石井 清	163
コムカデ綱	松永雅美	167
エダヒゲムシ綱	萩野康則	168
ワラジムシ目(等脚目)	布村 昇	173
陸生ソコムシ目	菊地義昭	175
クモ目	菅波洋平	176
ダニ目	茅根重夫	184
カニムシ目	坂寄 廣	190
マキガイ綱(陸産貝類)	黒住耐二	192
線虫綱	宍田幸男	201

第三部 特定動植物の生息環境調査

富士山北面地域の高山・亜高山域の植物相	渡辺長敬	207
高山域で確認された動物	篠田授樹・白石浩隆	213
溶岩洞のコウモリ類	白石浩隆	221
溶岩洞の無脊椎動物	伊藤良作	225
自然林を分布の中心とするコブヤハズカミキリ類	宮下泰典・白須英樹・渡辺通人	231
富士北麓の二次草原の植物相	渡辺長敬	236
草原を中心に生息する蝶類	渡辺通人	243

第四部 総括 富士北麓地域の生態系の特徴と保全のための課題

1 富士北麓地域の生態系の特徴	251
2 生態系多様性を脅かす諸問題	265
3 富士山の生態系保全の方向性	270
調査者名簿	273